

工事監理等報告書 (中間・完了)

平成 年 月 日

日本ERI株式会社 確認検査員 殿

工事監理者 住所 _____ 電話 _____
 会社名 _____ 級建築士事務所 登録第 _____ 号
 氏名 _____ 印 _____ 級建築士 登録第 _____ 号

工事施工者 住所 _____ 電話 _____
 会社名 _____ 建設業の許可 大臣・知事 () 第 _____ 号
 氏名 _____ 印 (法人にあっては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

建築主 住所 _____ 電話 _____
 会社名 _____
 氏名 _____ 印 (法人にあっては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

下記の建築物は建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であること確認しましたので報告します。

工事名称				工事種別	新築・増築・改築			
建築場所			工事担当者	電話(現場)				
規模	地上 階 , 地下 階 , PH 階 ,	構造種別						
	建築面積 m ² , 延べ面積 m ² , 最高高さ m , 軒高 m							
確認済証交付機関				計画変更 (最終)	平成 年 月 日 第 号			
確認年月日番号	平成 年 月 日 第 号							
構造計算	1. ルート1 2. ルート2-(1)-(2)-(3) 3. ルート3 4. 令82条の6 5. 令81条の2							
コンクリート	普・軽(1・2) 階 ~ 階	鉄筋	SD 295(A,B), 345, 390, 490	基礎	支持地盤	ローム , 砂礫 深度 : GL- m		
	N・H () Fc =		施工試験		ガス圧接 有・無	支持力	長期 : kN/m ² 短期 : kN/m ²	
	普・軽(1・2) 階 ~ 階		試験		引張・UT	直接基礎	独立, 連続, ベタ 液状化対策 : 有・無	
	N・H () Fc =		特殊継手 : (溶接・機械式・接着・その他)		杭基礎	・打ち込み杭	・埋め込み杭(セメントミルク)	
	普・軽(1・2) 階 ~ 階		高強度せん断補強筋 (, D)			RC , PC , PHC , 鋼管 ,	種類 (A・B・C) , Fc = N/mm ²	
	N・H () Fc =		鋼線・鋼棒 ()			・場所打ちコンクリート杭	・アースドリル, リバース, ベト, BH, 深礎	
	普・軽(1・2) 基礎(N/mm ²)		導入時 Fc = N/mm ²			・異形摩擦杭	・認定工法 ()	
N・H () Fc =			大臣認定	平成 年 月 日 第 号				
鉄骨	柱 (最大板厚 mm)	梁	SS () SM () SN () STKR () BCP () BCR () その他 () ()	鋼線・鋼棒 ()	特別な材料・工法等 : 有・無 ()			
その他 () ()	その他 () ()	柱脚	仕様 認定・一般 工法名	大臣認定	平成 年 月 日 第 号			
				建設技術審査	平成 年 月 日 第 号			
1 監理者総合所見					2 受付欄			

(注意) 1 監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。
 2 受付欄には記入しないでください。

- 注意事項
- 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。
 - 指摘事項及び是正方法、照合結果不適による処理方法については下記備考欄に記入するか、別添資料(自由書式)に替える事が出来ます。
 - 第三者試験機関の結果報告書(コンクリート、鉄筋、溶接、ボルト、柱脚等)をまとめたもの(自由書式、原本コピーでも可)を1部添付して下さい。また、その他必要と思われるものがある場合は写真、図面、施工記録、データ等を添付下さい。
 - 報告書に記載されていない特殊な工法がある場合は下記に内容、施工監理記録等を記入下さい。(免震、制振その他技術認定部材や工法等)

備考

ERI
メモ

中間・完了検査チェックシート（監理書類検査）

中間検査及び完了検査前に必ず提出してください。また、検査/確認日付には、最終確認日を記載してください。

検査はこのシートに基づき行ないますので、関与する写真・試験結果等は当日現場にご用意下さい。

下記の内容について照合を行った構造監理者¹：会社名 _____ 名前 _____

1. 基礎工事

検査項目	検査内容	検査/確認日付		監理者 ¹ 照合結果	不具合の場合 の処理方法
		施工者	監理者		
直接基礎	支持層の確認	床付け面の状況写真		適・不適	
		支持層深さの設計値との差異（深かった場合の処置方法）		適・不適	
平板載荷試験	試験位置（基礎下端）			適・不適	
	載荷荷重の大きさ（設計値の3倍（極限）又は2倍（降伏））			適・不適	
支持層の確認	掘削土標本とボーリングサンプルとの比較			適・不適	
	掘削土標本又は掘削土写真と柱状図の土質・色の表示との比較			適・不適	
	杭支持層深さの設計値との差異（違いがあった場合の処置方法）			適・不適	
杭偏芯の確認	偏心量の計測			適・不適	
	補強工事の有無（有りの場合計画変更の手続きが必要）			適・不適	
杭基礎 杭工事施工結果報告書	場所打コンクリート杭	超音波孔壁測定の本数とその結果（拡底杭）		適・不適	
		杭頭余盛コンクリートの状況写真		適・不適	
		配筋検査の記録（写真可）		適・不適	
		鉄筋の製品証明書（鉄筋コンクリート工事に同じ）		適・不適	
	コンクリート強度試験結果（鉄筋コンクリート工事に同じ）		適・不適		
既成杭（鋼管杭を含む）	評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか			適・不適	
	材料の品質確認（製品証明書・強度試験結果・製品検査成績書）			適・不適	
	杭頭処理の確認（写真）			適・不適	

2. 鉄筋コンクリート工事

鉄筋の製品証明書	工事名の記載			適・不適	
	使用材種・径毎の「製品証明書」の確認			適・不適	
	タグプレートの整理と製品証明書との照合			適・不適	
	メーカーマークの確認（拓本又は写真）			適・不適	
ガス圧接試験結果	抜取引張強度試験	公的機関で試験されているか。（公的機関名：_____）		適・不適	
		圧接工の技量確認（施工計画書・鉄筋径と適応資格の確認）		適・不適	
		柱筋や梁筋の部位別毎に、抜取り試験が行われているか		適・不適	
		抜取り本数（1ロット _____ 本）・抜取り個所の記録（伏図）		適・不適	
	抜取り個所の状況写真（位置・試験体・抜き取り後・圧接工名・資格）			適・不適	
超音波探傷検査	施工要領書の確認（冷間直角カッターによる端面処理が必要）			適・不適	
	検査会社・検査者の確認（第三者、技量資格）			適・不適	
	不合格の処置方法（ロットの判定）			適・不適	
コンクリートの強度試験結果	公的機関で試験されているか。（公的機関名：_____）			適・不適	
	試験体の養生方法の確認（現場水中・試験所水中・標準養生・現場封緘養生（長期材令））			適・不適	
	定められた試験日毎に、試験が行われているか			適・不適	
	現場の養生方法確認又は試験所で養生している場合の状況写真			適・不適	
	コンクリートのスランプ・塩分・空気量の試験結果（記録・写真）			適・不適	
特殊な材料・継手の確認	高強度せん断補強筋・PC鋼材（_____）			適・不適	
	梁貫通補強筋（_____）			適・不適	
	機械式継手（_____）			適・不適	
	材料の品質確認（鋼材のミルシート、製品検査成績書・工場管理記録）			適・不適	
	評定品である溶接継手「フープ・スターラップ」の製作管理状況や強度試験結果の確認（ない場合は抜取り試験）			適・不適	
	評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか			適・不適	
配筋検査の記録	現場施工者の「配筋検査記録」（必要項目について検査されているか）			適・不適	
	工事監理者の「配筋検査記録」（必要項目について検査されているか）			適・不適	
	指摘事項是正記録は検査者の是正確認がなされているか			適・不適	

3. 鉄骨工事

検査項目	検査内容	検査/確認日付		監理者 ¹ 照合結果	不具合の場合 の処理方法
		施工者	監理者		
工場製作要領書	鉄骨製作工場の確認（ランク・グレード・認定書の有効期限）			適・不適	
	使用材料の種類・メーカーの確認（H鋼・板・鋼管・高力ボルト）			適・不適	
	溶接工の技量確認（JIS・AW検定）			適・不適	
ミルシート	エンドタブの方法（スチールタブ（切断が必要か）・フラックススタブ（技量確認試験またはAW検定代替タブが必要））			適・不適	
	工事名の記入（工事名がないものは分割・裏書・切断証明が必要）			適・不適	
	使用材料毎にそろっているか（H鋼・板・鋼管）			適・不適	
製品検査の記録（寸法検査）	鉄骨製作工場の検査記録（寸法検査）			適・不適	
	立会検査の記録（是正事項があればその処置）			適・不適	
	鉄骨製作工場の材料管理状態を確認出来る写真（SN材使用時）			適・不適	
	材質のチェック（スチールチェッカーの使用）			適・不適	
	溶接開先検査の記録（開先角度、ルート間隔、目違い、記録写真）			適・不適	
溶接部の検査	自主検査	外観検査の記録（アンダーカット・われ・突合せ継手の食違い・ダイヤフラムとフランジのずれ）		適・不適	
		超音波探傷試験結果（抜取り率・検査技術者の資格）		適・不適	
	不具合個所の処置			適・不適	
受入検査 超音波探検査	第三者検査の確認（報告書の宛先・契約書）			適・不適	
	検査技術者の資格（UDI-UT 2種、3種）			適・不適	
	外観検査に突合せ継手の食違い、ダイヤフラムとフランジのズレが含まれているか			適・不適	
	自主検査と同じ部材での検査結果の比較はどうであったか			適・不適	
高力ボルト	トルシア形 JIS形六角ボルト	摩擦面処理の検査記録（グラインダー処理部の発錆）		適・不適	
		製品検査成績書（工事名、使用径・長さ毎）		適・不適	
		受入れ検査（軸力導入試験）の結果		適・不適	
	現場での施工管理状況の記録写真（仮ボルトの使用）（一次・二次締め、マーキングの有無）			適・不適	
	トルシア形ボルトの締付け検査（ピンテール破断の確認、共回り有無の確認、回転角90°±30°）			適・不適	
メッキボルト	JIS形高力ボルトの軸力管理の記録（トルクコントロール法）			適・不適	
	認定書、製品検査成績書			適・不適	
	高力ボルト締め付け管理技術者の資格			適・不適	
	締め付け管理（ナット回転法）			適・不適	
建て方精度検査	精度（H/700かつ15mm以内）検査の記録			適・不適	
柱脚	一般工法	アンカーボルトの締め付け状況の確認（ダブルナット・ボルトの余長）		適・不適	
		ベースモルタルの充填結果		適・不適	
	施工記録写真の確認			適・不適	
	柱脚スタッドボルトの打撃試験結果の記録			適・不適	
	評定工法	評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか		適・不適	
	使用材料の品質確認（鋼材のミルシート、充填モルタルの強度試験結果）			適・不適	
現場溶接の検査	現場溶接施工要領書の確認			適・不適	
	溶接工の技量確認（JIS V(立向)又はH(横向)・AW検定現場溶接）			適・不適	
	溶接管理技術者の配置とその資格（WES）			適・不適	
	開先検査の記録（開先角度・ルート間隔）			適・不適	
	溶接材料の管理（吸湿防止）			適・不適	
	溶接状況の管理記録（雨天・風・余熱・パス間温度）			適・不適	
	外観検査の記録（溶接部の検査（自主検査）に同じ）			適・不適	
	超音波探傷検査結果（溶接部の検査（受入検査）に同じ）			適・不適	

工事監理等報告書 (中間・完了)

平成 年 月 日

日本ERI株式会社 確認検査員 殿

工事監理者 住 所 東京都港区赤坂 8 - 10 - 電話 03 - 5775 - 2 08

会社名 (株)日本ERI建築設計事務所 1 級建築士事務所 都知事 登録第 123 号

氏 名 日本 太郎 印 1 級建築士 大臣 登録第 12345 号

工事施工者 住 所 東京都港区赤坂 8 - 5 - 2 電話 03 - 3796 - 022

会社名 ERI建設(株) 建設業の許可 (大臣)・知事 (-6) 第 2200 号

氏 名 工事 次郎 印 (法人にあっては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

建築主 住 所 東京都立川市曙町 2 - 37 - 電話 042 - 541 - 683

会社名 日本(株)

氏 名 代表取締役 工事 良好 印 (法人にあっては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

下記の建築物は建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工事名称	日本株式会社青山ビル		工事種別	新築 増築・改築
建築場所	東京都港区赤坂 8 - 22 -	工事担当者	工事 進	電話(現場) 03 - 577 - 2401
規 模	地上 階 , 地下 階 , PH 階 ,	構造種別	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 造	
	建築面積 m ² , 延べ面積 m ² , 最高高さ m , 軒高 m			
確認済証交付機関	日本ERI株式会社		計画変更 (最終)	平成 年 4 月 12 日
確認年月日番号	平成 年 1 月 25 日 第 ERI 号		第 ERI 号	
構造計算	1. ルート1 2. ルート2-(1)-(2)-(3) 3. ルート3 4. 令82条の6 5. 令81条の2			
コ ン ク リ ー ト	普 軽(1・2)・ 9 階 ~ 10 階	鉄 筋	SD 295(A,B) 345, 390, 490	支持地盤 ローム, 砂礫 深度: GL- 25.3 m
	N・H () Fc = 24		施工 ガス圧接 有・無	
	普 軽(1・2)・ 7 階 ~ 8 階		試験 引張・UT	
	N・H () Fc = 27		D19 ~ D32	
	普 軽(1・2)・ 4 階 ~ 6 階		特殊継手: H -23 58 (溶接 機械式 接着・その他)	
	N・H () Fc = 30		高強度せん断補強筋 (KSS785 , D 13)	
普 軽(1・2)・ 2 階 ~ 3 階	基礎(N/mm ²)	鋼線(鋼棒) (SBPD)	基礎	直接基礎 独立, 連続, べた 液状化対策: 有・無
N・H () Fc = 33				
普 軽(1・2)・	基礎(N/mm ²)	導入時 Fc = 60 N/mm ²	杭基礎	・打ち込み杭 ・埋め込み杭(セメントミルク) RC, PC, PHC, 鋼管, 種類 (A・B・C), Fc = 27 N/mm ² ・場所打ちコンクリート杭 ・アースドリル リバース, ベト, BH, 深礎 ・異形摩擦杭 ・認定工法 ()
N・H () Fc = 30				
鉄 骨	柱 SS 400 (22)	梁	SS 400 (22)	大臣認定 平成 年 月 日 第 号
	SM 490B (28)		SM 490B (28)	
	SN ()		SN ()	
	STKR ()		その他 () ()	
	BCP ()		ダイヤフラム SN490C (40)	
mm BCR ()	その他	柱脚	仕 様 (認定)・(一般) 工法名 ベースパック	特別な材料・工法等 : 有・無 (免震工法) 大臣認定 平成 年 9 月 12 日 第 号 建設技術審査 平成 年 月 日 第 号
その他 () ()				
1 監理者総合所見	杭工事において、掘削土標本とボーリングサンプルとの比較により支持層について問題がないことを確認した。 コンクリート打設前の配筋検査ではチェックシートを用いることで確実な施工の確認ができた。 通しダイヤフラムと梁フランジの食い違いについては一部不合格が出たが、告示1464号の補強要領に基づき適切な補修を行い、再検査により合格と判定した。			2 受付欄

(注意) 1 監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。
2 受付欄には記入しないでください。

- 注意事項
- 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。
 - 指摘事項及び是正方法、照合結果不適による処理方法については下記備考欄に記入するか、別添資料(自由書式)に替える事が出来ます。
 - 第三者試験機関の結果報告書(コンクリート、鉄筋、溶接、ボルト、柱脚等)をまとめたもの(自由書式、原本コピーでも可)を1部添付して下さい。また、その他必要と思われるものがある場合は写真、図面、施工記録、データ等を添付下さい。
 - 報告書に記載されていない特殊な工法がある場合は下記に内容、施工監理記録等を記入下さい。(免震、制振その他技術認定部材や工法等)

備考

ERI
メモ

中間・完了検査チェックシート（監理書類検査）

中間検査及び完了検査時に必ず提出してください。また、検査/確認日付には、最終確認日を記載してください。

検査はこのシートに基づき行ないますので、関与する写真・試験結果等は当日現場にご用意下さい。

下記の内容について照合を行った構造監理者¹：会社名 **日本構造設計工房** 名前 **構造 進**

1. 基礎工事

検査項目	検査内容	検査/確認日付		監理者 ¹ 照合結果	不具合の場合 の処理方法	
		施工者	監理者			
直接基礎	支持層の確認	床付け面の状況写真		適・不適		
		支持層深さの設計値との差異（深かった場合の処置方法）		適・不適		
平板載荷試験	試験位置（基礎下端）			適・不適		
	載荷荷重の大きさ（設計値の3倍（極限）又は2倍（降伏））			適・不適		
支持層の確認	掘削土標本とボーリングサンプルとの比較	/	/	適 不適		
	掘削土標本又は掘削土写真と柱状図の土質・色の表示との比較	/	/	適 不適		
	杭支持層深さの設計値との差異（違いがあった場合の処置方法）	/	/	適 不適		
杭偏芯の確認	偏心量の計測	/	/	適 不適		
	補強工事の有無（有りの場合計画変更の手続きが必要）	/	/	適 不適	計画変更済	
杭基礎	杭工事施工結果報告書	場所打コンクリート杭				
		超音波孔壁測定の本数とその結果（拡底杭）	/	/	適 不適	
		杭頭余盛コンクリートの状況写真	/	/	適 不適	
		配筋検査の記録（写真可）	/	/	適 不適	
	鉄筋の製品証明書（鉄筋コンクリート工事に同じ）	/	/	適 不適		
	コンクリート強度試験結果（鉄筋コンクリート工事に同じ）	/	/	適 不適		
既成杭（鋼管杭を含む）	評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか			適・不適		
	材料の品質確認（製品証明書・強度試験結果・製品検査成績書）			適・不適		
		杭頭処理の確認（写真）			適・不適	

2. 鉄筋コンクリート工事

鉄筋の製品証明書	工事名の記載	/	/	適 不適	
	使用材種・径毎の「製品証明書」の確認	/	/	適 不適	
	タグプレートの整理と製品証明書との照合	/	/	適 不適	
	メーカーマークの確認（拓本又は写真）	/	/	適 不適	
ガス圧接試験結果	抜取引張強度試験	公的機関で試験されているか。（公的機関名： 試験所 ）	/	/	適 不適
		圧接工の技量確認（施工計画書・鉄筋径と適応資格の確認）	/	/	適 不適
		柱筋や梁筋の部位別毎に、抜取り試験が行われているか	/	/	適 不適
		抜取り本数（1ロット 5本 ）・抜取り個所の記録（伏図）	/	/	適 不適
	抜取り個所の状況写真（位置・試験体・抜き取り後・圧接工名・資格）	/	/	適 不適	
超音波探傷検査	施工要領書の確認（冷間直角カッターによる端面処理が必要）			適・不適	
	検査会社・検査者の確認（第三者、技量資格）			適・不適	
		不合格の処置方法（ロットの判定）			適・不適
コンクリートの強度試験結果	公的機関で試験されているか。（公的機関名： 試験所 ）	/	/	適 不適	
	試験体の養生方法の確認（現場水中・ 試験所水中 ・標準養生・現場封緘養生（長期材令））	/	/	適 不適	
	定められた試験日毎に、試験が行われているか	/	/	適 不適	
	現場の養生方法確認又は試験所で養生している場合の状況写真	/	/	適 不適	
		コンクリートのスランプ・塩分・空気量の試験結果（記録・写真）	/	/	適 不適
特殊な材料・継手の確認	高強度せん断補強筋・PC鋼材（ KSS785 ）	/	/	適 不適	
	梁貫通補強筋（ ウェブレ ）	/	/	適 不適	
	機械式継手（ リレージョイント ）	/	/	適 不適	
	材料の品質確認（鋼材のミルシート、製品検査成績書・工場管理記録）	/	/	適 不適	
		評定品である溶接継手「フープ・スターラップ」の製作管理状況や強度試験結果の確認（ない場合は抜取り試験）			適・不適
		評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか			適・不適
配筋検査の記録	現場施工者の「配筋検査記録」（必要項目について検査されているか）	/	/	適 不適	
	工事監理者の「配筋検査記録」（必要項目について検査されているか）	/	/	適 不適	
	指摘事項是正記録は検査者の是正確認がなされているか	/	/	適 不適	

3. 鉄骨工事

検査項目	検査内容	検査/確認日付		監理者 ¹ 照合結果	不具合の場合 の処理方法
		施工者	監理者		
工場製作要領書	鉄骨製作工場の確認（ランク・グレード・認定書の有効期限）	/	/	適 不適	
	使用材料の種類・メーカーの確認（H鋼・板・鋼管・高力ボルト）	/	/	適 不適	
	溶接工の技量確認（JIS・AW検定）	/	/	適 不適	
	エンドタブの方法（スチールタブ（切断が必要か）・フラックススタブ（技量確認試験またはAW検定代替タブが必要））	/	/	適 不適	
ミルシート	工事名の記入（工事名がないものは分割・裏書・切断証明が必要）	/	/	適 不適	
	使用材料毎にそろっているか（H鋼・板・鋼管）	/	/	適 不適	
製品検査の記録（寸法検査）	鉄骨製作工場の検査記録（寸法検査）	/	/	適 不適	
	立会検査の記録（是正事項があればその処置）	/	/	適 不適	
	鉄骨製作工場の材料管理状態を確認出来る写真（SN材使用時）	/	/	適 不適	
	材質のチェック（スチールチェッカーの使用）	/	/	適 不適	
		溶接開先検査の記録（開先角度、ルート間隔、目違い、記録写真）	/	/	適 不適
自主検査	外観検査の記録（アンダーカット・われ・突合せ継手の食違い・ダイヤフラムとフランジのずれ）	/	/	適 不適	
	超音波探傷試験結果（抜取り率・検査技術者の資格）	/	/	適 不適	
	不具合個所の処置	/	/	適 不適	補修後確認
溶接部の検査	受入検査 超音波探検査	第三者検査の確認（報告書の宛先・契約書）	/	/	適 不適
		検査技術者の資格（UDI-UT 2種、3種）	/	/	適 不適
	外観検査に突合せ継手の食違い、ダイヤフラムとフランジのズレが含まれているか	/	/	適 不適	
		自主検査と同じ部材での検査結果の比較はどうであったか	/	/	適 不適
高力ボルト	トルシア形 JIS形六角ボルト	摩擦面処理の検査記録（グラインダー処理部の発錆）	/	/	適 不適
		製品検査成績書（工事名、使用径・長さ毎）	/	/	適 不適
		受入れ検査（軸力導入試験）の結果	/	/	適 不適
	現場での施工管理状況の記録写真（仮ボルトの使用）（一次・二次締め、マーキングの有無）	/	/	適 不適	
	トルシア形ボルトの締付け検査（ピンテール破断の確認、共回り有無の確認、回転角90°±30°）	/	/	適 不適	
メッキボルト	JIS形高力ボルトの軸力管理の記録（トルクコントロール法）	/	/	適 不適	
		認定書、製品検査成績書	/	/	適 不適
		高力ボルト締め付け管理技術者の資格	/	/	適 不適
		締め付け管理（ナット回転法）	/	/	適 不適
建て方精度検査	精度（H/700かつ15mm以内）検査の記録	/	/	適 不適	
柱脚	一般工法	アンカーボルトの締め付け状況の確認（ダブルナット・ボルトの余長）	/	/	適 不適
		ベースモルタルの充填結果	/	/	適 不適
		施工記録写真の確認	/	/	適 不適
		柱脚スタッドボルトの打撃試験結果の記録	/	/	適 不適
	評定工法	評定工法の場合は、その仕様書と評定内容を確認して施工しているか	/	/	適 不適
		使用材料の品質確認（鋼材のミルシート、充填モルタルの強度試験結果）	/	/	適 不適
現場溶接の検査	現場溶接施工要領書の確認	/	/	適 不適	
	溶接工の技量確認（JIS V(立向)又はH(横向)・AW検定現場溶接）	/	/	適 不適	
	溶接管理技術者の配置とその資格（WES）	/	/	適 不適	
	開先検査の記録（開先角度・ルート間隔）	/	/	適 不適	
	溶接材料の管理（吸湿防止）	/	/	適 不適	
	溶接状況の管理記録（雨天・風・余熱・パス間温度）	/	/	適 不適	
		外観検査の記録（溶接部の検査（自主検査）に同じ）	/	/	適 不適
		超音波探傷検査結果（溶接部の検査（受入検査）に同じ）	/	/	適 不適